

授業概要

英語科教育法Ⅲまでで培ったことを実践する力を鍛える。中学校及び高等学校の英語教育の基軸となる学習指導要領及び教科用図書（教科書）について理解するとともに、学習到達目標及び年間指導計画、単元計画、各時間の指導計画について理解する。また、小学校の外国語活動・外国語科の学習指導要領並びに教材、教科書について知るとともに、小・中・高等学校の連携の在り方について理解する。

授業計画

第1回	リスニングの指導法（集中的リスニング）（英語コミュニケーション）
第2回	リスニングの指導法（対人的リスニング）
第3回	スピーキングの指導法（話し言葉の特徴）
第4回	スピーキングの指導法（指導のテクニック）
第5回	ライティングの指導法（要約法）
第6回	ライティングの指導法（ブレインストーミング法）（英文学の知見を活かす）
第7回	チーム・ティーチング（教科書の活用法）（異文化理解を深める）
第8回	チーム・ティーチング（効果的な役割分担）
第9回	測定と評価（客観テスト）（英語学の適用）
第10回	測定と評価（主観テスト）
第11回	測定と評価（個別項目テスト）
第12回	測定と評価（総合テスト）
第13回	CALL 教室の活用方法
第14回	EラーニングとCALL 教室
第15回	インターネット教材を用いた、生徒による自己発信法への試み
第16回	学期末定期試験

到達目標

1) 小学校の外国語活動・外国語科の学習指導要領や教科書等の教材、並びに小・中・高等学校を通じた英語教育の在り方の基本について理解している。

2) 英語でのインタラクションについて理解し、授業指導に生かすことができる。

3) ALT等とのチーム・ティーチングについて理解し、授業指導に生かすことができる。

4) 生徒の特性・習熟度への対応について理解し、授業指導に生かすことができる。

☆文部科学省によるコアカリキュラム指針に従い、英語学、英語文学、英語コミュニケーション、異文化理解関連項目を取り入れた授業です。

履修上の注意

授業は原則として英語のみで行いたいと思います。NHK のラジオ講座を教材の1つとして使用します（選定番組は受講者と相談）ので、これも活用して、毎日英語に触れる心構えを持つことが最低条件です。辞書は必携です。英語の勉強も含めれば、毎日学習するよう努力して下さい。これを楽しめることが必須条件です。教職を志すからには当然ですが、遅刻は厳禁。

予習復習

毎時間 reading assignment を出しますので、必ず予習のうえ、授業に臨んで下さい。予習を前提として授業を行います。授業時には復習のために、self-research を課し、評価の一部（下欄参照）に組み入れます。

評価方法

mid- & final test (50%)、presentation (20%)、quiz (10%)、report (10%)、及び self-research assignment を中心に予復習の有無 (10%) を勘案して総合的に評価。

テキスト

『改定版 新学習指導要領にもとづく英語科教育法』（大修館書店）